

平成22年度 一般会計決算 (総額約82億円) 町が取組む7つの施政方針を検証

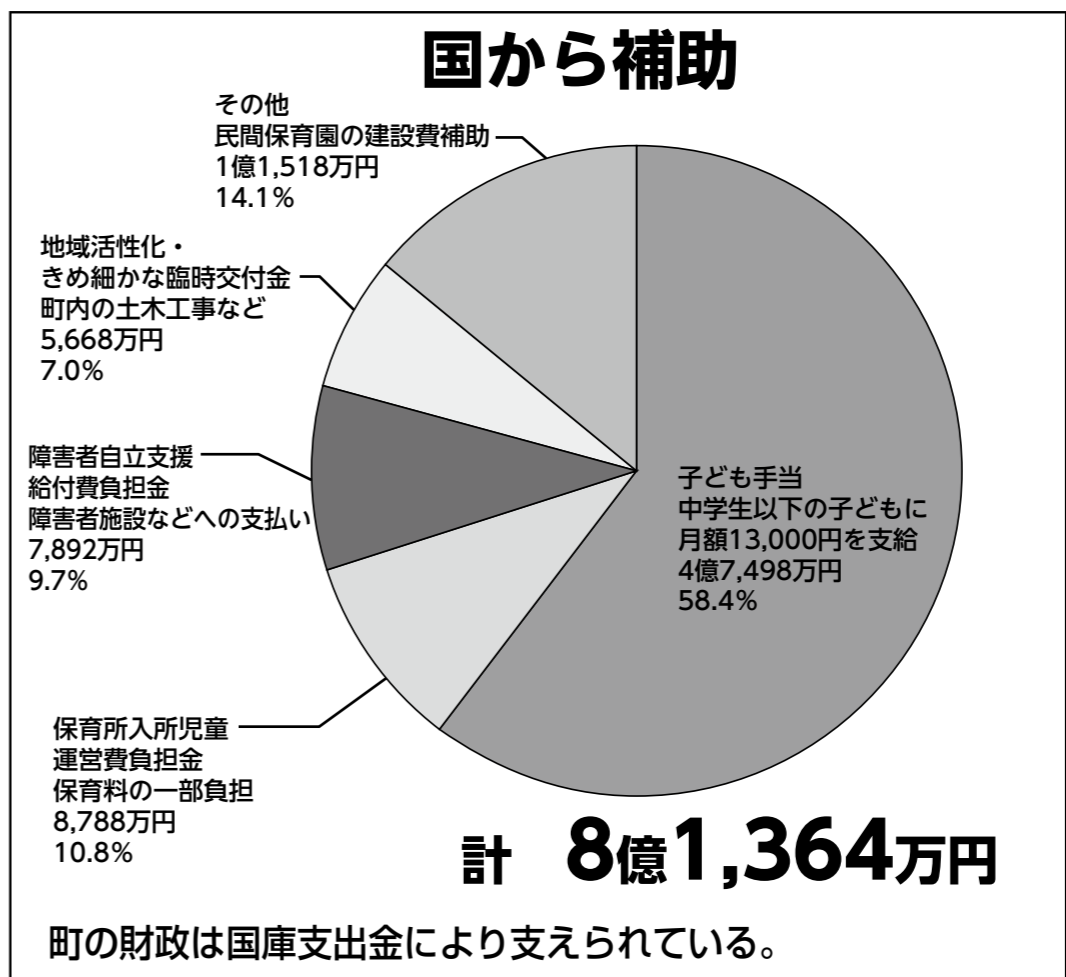


- 子育て支援、次世代育成のまちづくり
- 地域社会づくり、自己現実と地域文化を育む
- 福祉・健康・社会保障、自立を支えあい
- 産業振興、地産地消

- 生活基盤整備、安心・安全・美しいまちづくり
- 生活環境の充実、環境共生と循環型のまちづくり
- 行財政運営の充実、行財政改革の推進

9月定例議会 7月臨時議会

平成23年9月定例議会は9月1日から22日までの22日間開催された。平成23年度一般会計補正予算など18議案の全てが可決された。また、7月22日に開催された臨時議会では、金杉小学校体育館大規模改修工事請負契約など2議案を可決した。



採決の結果

- | | |
|--|----------------------------------|
| 賛成12人
新自民クラブ
山崎(善)・山崎(正)・
莊子・渡辺・飯島
新政クラブ
高橋・佐藤・福井 | 町民クラブ
堀越・長谷川
公明党
南田・佐々木 |
| 反対1人
日本共産党
吉田 | |

山崎(善) 22年度の松伏町一般会計総額は、82億1千168万5千448円となり、前年比8.8%の減である。「暮らし満足度一番のまち」を実現するため、第四次総合振興計画後期計画の進捗状況を勘案して予算化し執行した。達成率はどうか。

企画財政課長 後期計画は、21年度から5年間の計画である。目標値64項目のうち9項目は達成している。子育て講座や町税の口座振替などは約80%で、平均では約70%の進捗である。数値であらわせないものもある。

高橋 町税は31億6千878万6千726円で、前年比1.3%の減である。特に町民税は3.9%の減で自主財源が期待できない。収納率も0.2%の減で、年々下落傾向だが成果はどうか。

企画財政課長 個人所得の減と松小体育館建設が終了したので国庫補助がなくなった。

吉田 積立金台帳に積み増した分が1億3千572万2千円で実質的赤字だが実態は何か。

企画財政課長 実質単年度収支が2億2千400万円。繰越金の理由は、不用額が前年より3千万多い。一般財源は、8千500万円の増で指標上は健全化に向いている。

南田 町の産業構造は、どのように推移していくのか。

企画財政課長 町の取り巻く環境に十分注意して行政運営に努める。

堀越 町税の大幅減少、民生費の伸びで町財政は耐えられるか。

企画財政課長 経済事情の苦しい変動、軽災害、緊急的必要時の手当てをする財政調基金がある。自主財源を確保する。

7月臨時議会

○「名誉町民故石川仁氏の公葬とする決議」を賛成多数で可決した。石川氏は平成5年まで4期16年町長を勤めた町の名誉町民である。

○金杉小学校体育館耐震補強及び大規模改修工事請負契約の締結をした。

この工事は、基礎ぐい、鉄骨部分を既存のものを使うが大規模な工事となる。工事中の安全管理は常備交通整理員をつけて工事を進めるよう要望した。工事額は2億円を超えるので一般競争入札で業者を選定した。工事完了後も使用材料等のメンテナンスシートを作成し維持管理に努めることで全員賛成で可決した。

○松伏町土地開発公社から取得金額1千368万90円で松伏町地域子育て支援センターの建物を購入した。